

実践事例

1 実践の概要

(1) 取組みのねらい

いじめを未然に防ぎ、よりよい人間関係を築く力を高めることができるようにする。

(2) 取組みの内容

- ① 人間関係調整力の向上を図るための、構成的グループエンカウンターを導入
- ② 思いやりの心を育むための、道徳の授業を中心した心のノートの活用
- ③ 事象への迅速で適切な個別指導の充実

2 実践の結果（態度・心情面やいじめの解決など）

① 構成的グループエンカウンターを導入によって

少人数学級の中で、友達の関係が固定化しがちだったが、場に応じているいろんな人と力を合わせることの大切を意識できるようになりつつある。

② 心のノートの活用によって

自分をふり返る機会を与えられ、友達に対する見方の幅が広がった児童が見られる。友達に対する言動も、徐々に柔らかいものになってきた児童が多い。

③ 事象への迅速な対応と個別指導の充実によって

児童どうしのトラブルに対して、家庭への連絡も含め、その日のうちに事実を伝えるという姿勢で対応することで、保護者の誤解を招かないようにしている。

また、全職員が共通理解のもと、どの児童でも個に応じた現場指導をすることにより、児童が人を傷つけることをしないようにするという意識を高めることができるようになってきている。

3 取組みの評価（対応についての評価）

現在、本校においていじめに該当する児童からの情報は挙げられていない。しかし、友達関係のトラブルから、いついじめに発展するかもしれないという意識を持って、早めの適切な対応は常に心がけている。そのため、保護者からのアンケートでも、「児童に合わせ適切に対応しているか」という質問に対して、8割の家庭からまあまあ以上の評価を受けている。

4 実践に関する資料（学習カード等）

トラストウォーク シェアリングカード

名前 _____ 相手の人の名前 _____

★ 相手を連れて行くときに思ったことや感じたことを書きましょう。

ぶつがらないうようにつれていくの
がむずかしかった。

★ 自勝手に歩いているときの気持ちや相手に対して感じたことを書きましょう。

目隠して歩いているとなにも見えな
くて歩くのが不便になった。

★ 今日のエクササイズをやった感想を書きましょう。

人の事をかんがえるエクササイズが
楽しかった。

トラストウォーク シェアリングカード

名前 _____ 相手の人の名前 _____

★ 相手を連れて行くときに思ったことや感じたことを書きましょう。

どこかにぶつかったりしないようにつれていくこ
とを気をつけてやった。

★ 自勝手に歩いているときの気持ちや相手に対して感じたことを書きましょう。

いまどこか「どこか」どこかにぶつかったりしない
かなとか、かんがえながらついていったりし
た。

★ 今日のエクササイズをやった感想を書きましょう。

いろいろなエクササイズをやったのだから、たしな
も、もと仲良くなったきっかけ。